

平成27年度  
市町村決算の概要  
(普通会計分)

平成28年12月2日  
沖縄県企画部市町村課

## 目 次

1 決算規模	.....	P1
2 決算収支	.....	P1
3 歳入	.....	P2
4 歳出	.....	P4
5 財政構造の弾力性	.....	P7
6 地方債現在高、債務負担行為及び積立金現在高	.....	P8

(注)公表数値は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳等を合計した数値は合計欄の数値等と一致しない場合がある。

## 《 参 考 資 料 》

・平成27年度 市町村別決算収支の状況	.....	P9
・平成27年度 市町村別財政指標等	.....	P10
・平成27年度 市町村別地方債現在高、債務負担行為及び積立金現在高	.....	P11
・主な財政用語の説明	.....	P12

# 1 決算規模

## 歳入

歳入総額は、前年度比336億円増(+4.6%)の7,665億円となった。地方消費税交付金、国庫支出金等の増加が主な要因である。

## 歳出

歳出総額は、前年度比307億円増(+4.4%)の7,357億円となった。扶助費、普通建設事業費等の増加が主な要因である。

### <決算規模の状況>

(単位:百万円)

区分	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率	前年度増減率
歳入総額	766,526	732,927	33,599	4.6%	2.9%
歳出総額	735,652	704,922	30,730	4.4%	2.9%

# 2 決算収支

昨年度に引き続き、実質収支が赤字の団体はない。

### <決算収支の状況>

(単位:百万円)

区分	平成27年度	平成26年度	増減額
形式収支	30,873	28,005	2,868
実質収支	22,112	19,508	2,604
単年度収支	2,604	△ 2,029	4,633
実質単年度収支	9,287	856	8,431

#### 【用語の説明】

形式収支 : 歳入歳出差引額

実質収支 : 形式収支(歳入歳出差引額)から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額

単年度収支 : 当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

実質単年度 : 単年度収支に、実質的な黒字要素(財政調整基金への積立額及び地方債の繰上収支償還額)を加え、赤字要素(財政調整基金の取崩し額)を差し引いた額

### 3 歳入

(1) 地方消費税交付金等

地方消費税率の引き上げの影響が平年度化したことに伴う地方消費税交付金等の増により、前年度比107億円増(+73.4%)の254億円となった。

(2) 国庫支出金

保育に係る児童保護費等負担金や地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策による交付金等の増により、前年度比71億円増(+4.7%)の1,567億円となった。

(3) 都道府県支出金

保育に係る児童保護費等負担金や小中学校等の改築事業等の増により、前年度比51億円増(+4.5%)の1,184億円となった。

(4) 地方債

小中学校等改築事業関連の地方債等の増により、前年度比76億円増(+14.5%)の599億円となった。

<歳入の状況>

(単位:百万円,%)

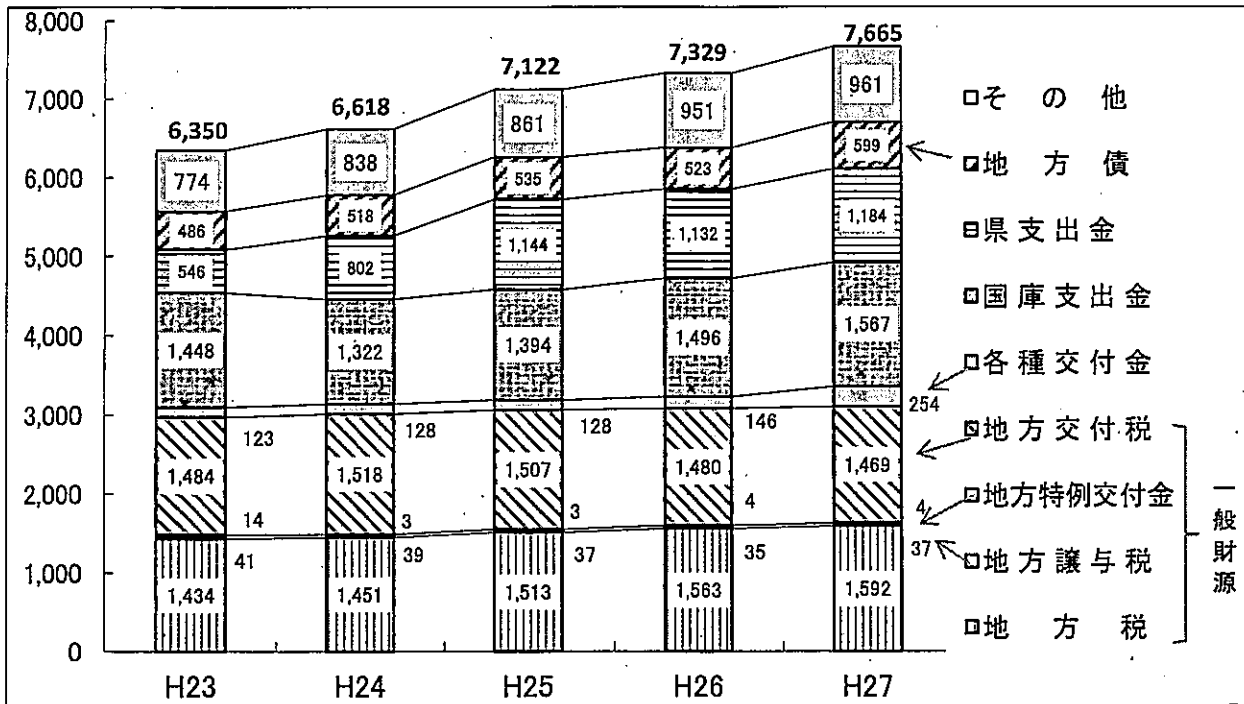
区分	平成27年度		平成26年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
地方税	159,161	20.8	156,252	21.3	2,909	1.9
地方譲与税	3,700	0.5	3,509	0.5	191	5.4
地方特例交付金	387	0.1	365	0.0	22	6.0
地方交付税	146,856	19.2	147,976	20.2	△ 1,120	△ 0.8
地方消費税交付金等 各種交付金	25,388	3.3	14,643	2.0	10,745	73.4
国庫支出金	156,703	20.4	149,622	20.4	7,081	4.7
都道府県支出金	118,362	15.4	113,213	15.4	5,149	4.5
地方債	59,875	7.8	52,294	7.1	7,581	14.5
うち臨時財政対策債	20,984	2.7	23,029	3.1	△ 2,045	△ 8.9
その他	96,094	12.5	95,053	13.0	1,041	1.1
うち繰入金	18,603	2.4	23,846	3.3	△ 5,243	△ 22.0
うち繰越金	27,290	3.6	26,135	3.6	1,155	4.4
歳入合計	766,526	100.0	732,927	100.0	33,599	4.6
うち一般財源	335,492	43.8	322,745	44.0	12,747	3.9

※1 国庫支出金には、国有提供施設等所在市町村助成交付金を含み、交通安全対策特別交付金は除く。

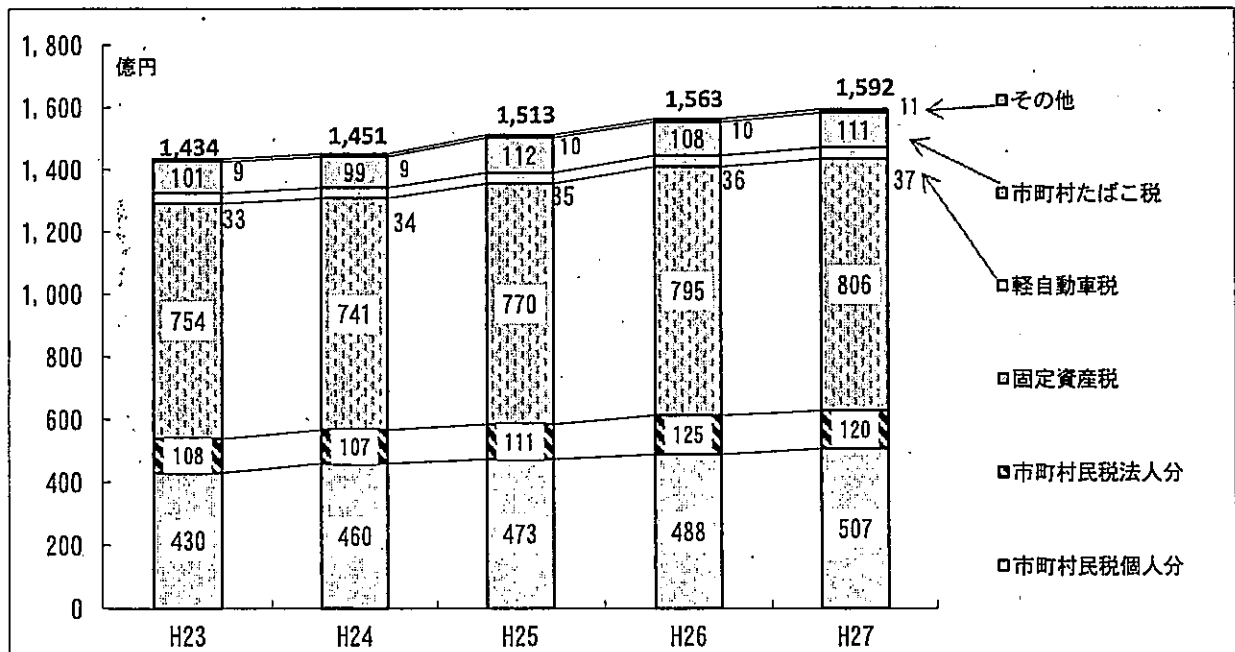
※2 一般財源は、地方税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、地方消費税交付金等各種交付金の合計である。

<歳入決算額の推移>

億円

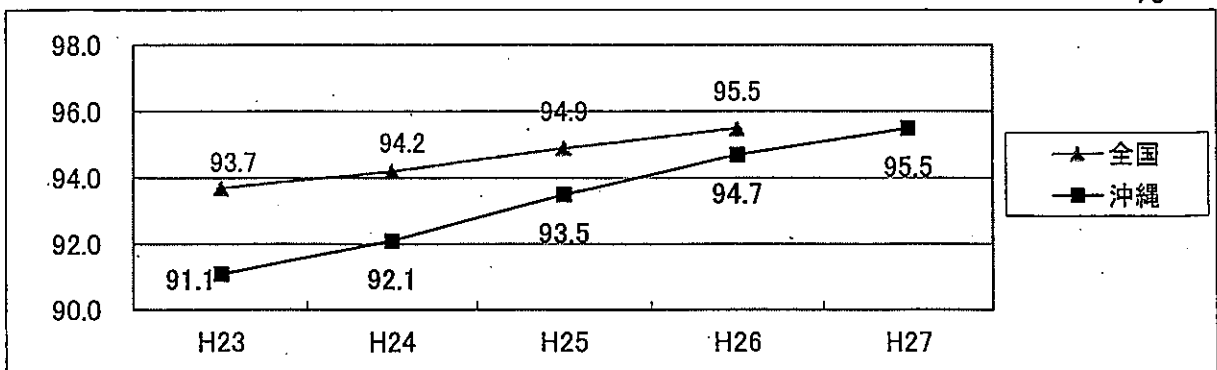


<地方税の推移>



<地方税の徴収率の推移>

%



## 4 歳 出

【性質別歳出】

### (1) 義務的経費

- ・人件費は、退職手当負担金の減等により、前年度比31億円減(△3.2%)の936億円となった。
- ・扶助費は、子ども・子育て支援新制度による給付の増等により、前年度比82億円増(+4.6%)の1,856億円となった。
- ・公債費は、臨時財政対策債以外の地方債元利償還金の減により、前年度比6億円減(△1.1%)の562億円となった。

### (2) 投資的経費

- ・普通建設事業費は、小中学校等の改築事業や庁舎建設事業等により、前年度比114億円増(+8.2%)の1,503億円となった。

### (3) その他の経費

- ・補助費等は、緊急経済対策に係る交付金等の増により、前年度比37億円増(+7.3%)の549億円となった。
- ・繰出金は、国民健康保険事業会計繰出金等の増により、前年度比36億円増(+5.6%)の677億円となった。

<性質別歳出の状況>

(単位:百万円,%)

区分	平成27年度		平成26年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	335,274	45.6	330,829	46.9	4,445	1.3
人件費	93,555	12.7	96,672	13.7	△3,117	△3.2
うち職員給	56,714	7.7	56,526	8.0	188	0.3
扶助費	185,559	25.2	177,400	25.2	8,159	4.6
公債費	56,161	7.6	56,757	8.1	△596	△1.1
うち臨時財政対策債元利償還額	14,002	1.9	12,691	1.8	1,311	10.3
投資的経費	151,389	20.6	139,954	19.9	11,435	8.2
普通建設事業費	150,339	20.4	138,987	19.7	11,352	8.2
うち補助事業費	122,011	16.6	117,893	16.7	4,118	3.5
うち単独事業費	27,620	3.8	20,379	2.9	7,241	35.5
災害復旧事業費	1,050	0.1	967	0.1	83	8.6
その他経費	248,989	33.8	234,139	33.2	14,850	6.3
うち物件費	87,071	11.8	82,655	11.7	4,416	5.3
うち補助費等	54,938	7.5	51,213	7.3	3,725	7.3
うち繰出金	67,729	9.2	64,164	9.1	3,565	5.6
歳出合計	735,652	100.0	704,922	100.0	30,730	4.4

【目的別歳出】

(1) 民生費

子ども・子育て支援新制度による給付、生活保護費及び国民健康保険事業会計繰出金等の増により、前年度比157億円増(+5.8%)の2,848億円となった。

(2) 衛生費

廃棄物処理施設建設事業等により、前年度比44億円増(+11.3%)の432億円となった。

(3) 農林水産業費

製糖施設改築事業の完了等により、前年度比55億円減(△14.9%)の317億円となった。

(4) 消防費

消防庁舎や防災訓練の施設整備等により、前年度比35億円増(+19.7%)の210億円となった。

(5) 教育費

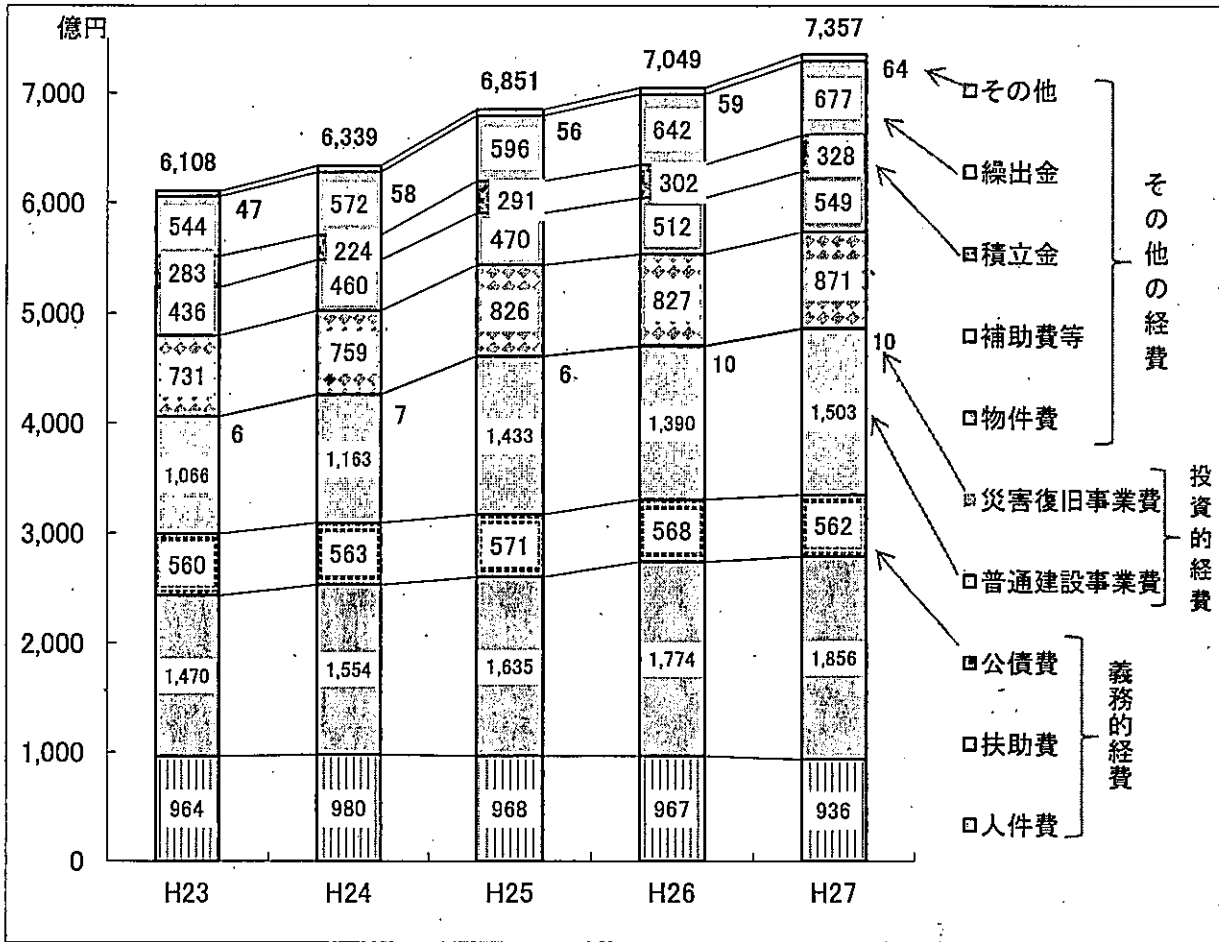
小中学校等の改築事業や運動施設整備等により、前年度比68億円増(+8.5%)の865億円となった。

<目的別歳出の状況>

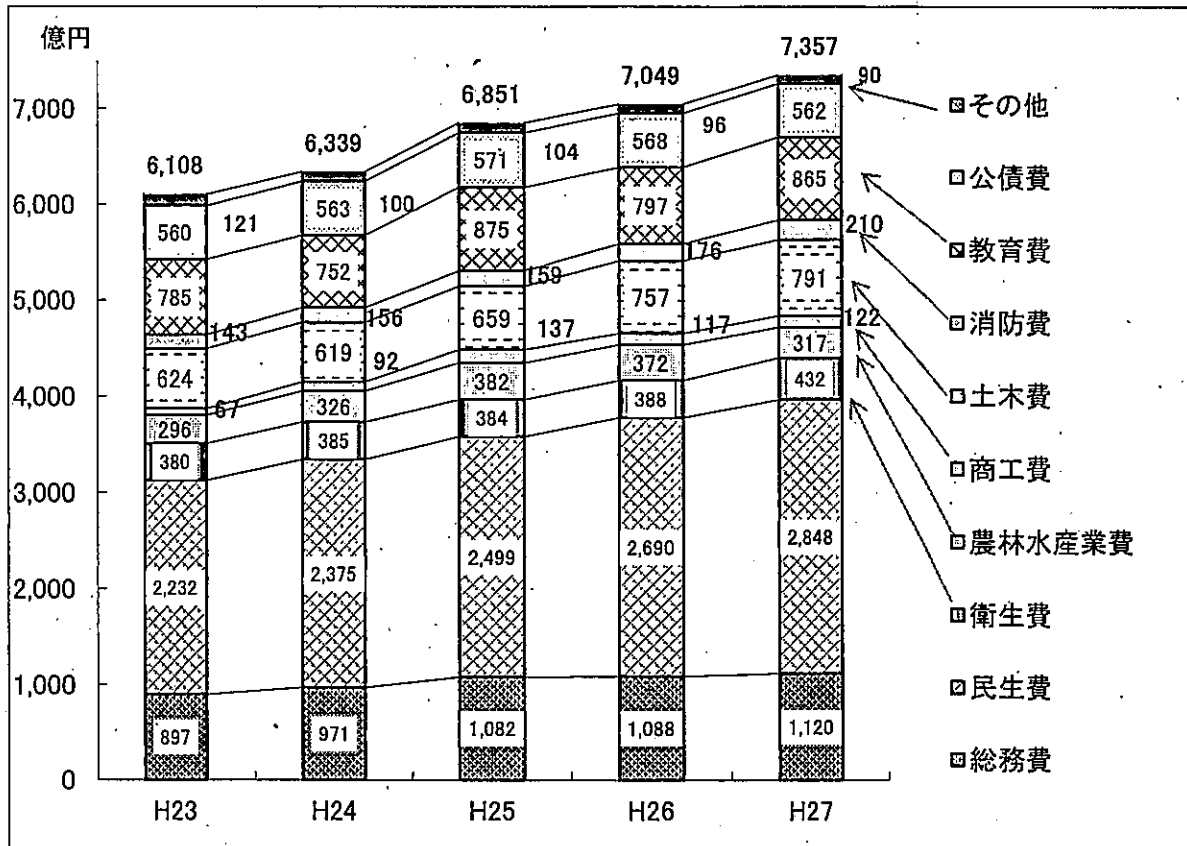
(単位:百万円, %)

区分	平成27年度		平成26年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総務費	111,974	15.2	108,803	15.4	3,171	2.9
民生費	284,771	38.7	269,048	38.2	15,723	5.8
衛生費	43,174	5.9	38,798	5.5	4,376	11.3
労働費	1,119	0.2	1,975	0.3	△ 856	△ 43.3
農林水産業費	31,678	4.3	37,225	5.3	△ 5,547	△ 14.9
商工費	12,195	1.7	11,687	1.7	508	4.3
土木費	79,077	10.7	75,668	10.7	3,409	4.5
消防費	21,034	2.9	17,572	2.5	3,462	19.7
教育費	86,540	11.8	79,749	11.3	6,791	8.5
災害復旧費	1,050	0.1	967	0.1	83	8.6
公債費	56,161	7.6	56,757	8.1	△ 596	△ 1.1
うち臨時財政対策債 元利償還額	14,002	1.9	12,691	1.8	1,311	10.3
その他	6,879	0.9	6,673	0.9	206	3.1
歳出合計	735,652	100.0	704,922	100.0	30,730	4.4

<性質別歳出決算額の推移>



<目的別歳出決算額の推移>





## 5 財政構造の弾力性

### (1) 経常収支比率

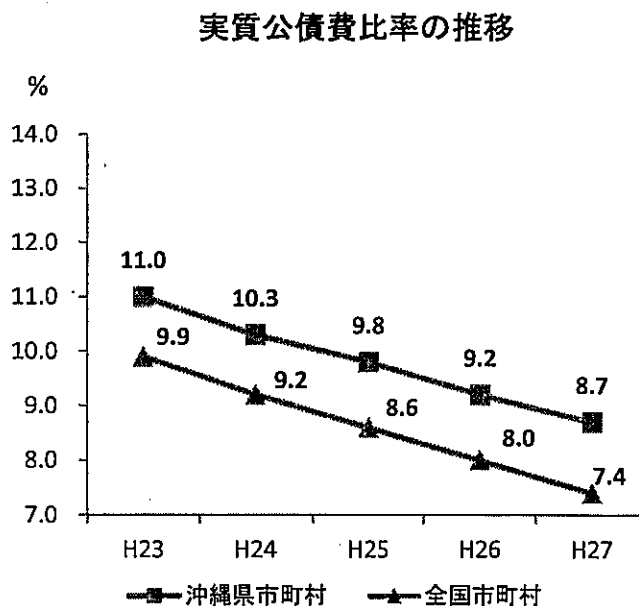
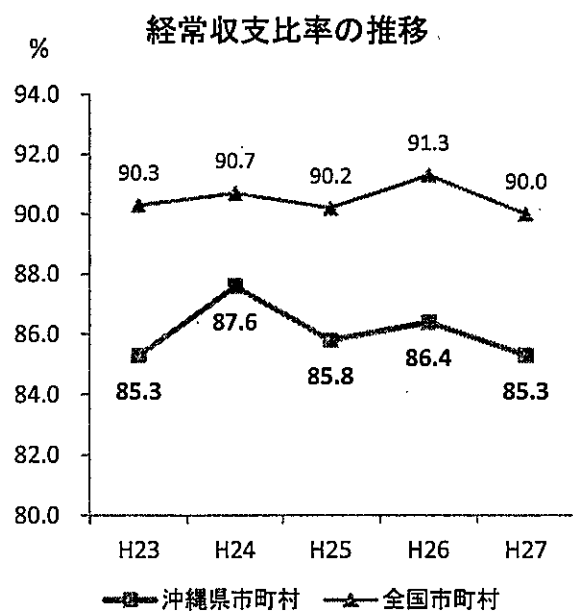
・分母である経常一般財源等の地方消費税交付金等の増加が、分子である経常経費充当一般財源等の扶助費の増加を上回ったため、前年度より1.1ポイント低下し、85.3%となった。

### (2) 実質公債費比率

・分母である標準財政規模が地方消費税交付金等により増加し、分子である地方債元利償還金等が減少したことにより、前年度比0.5ポイント低下し、8.7%となった。

### <財政指標の状況>

区分	経常収支比率	実質公債費比率	財政力指数
平成27年度	85.3%	8.7%	0.35
平成26年度	86.4%	9.2%	0.34
前年度増減	△ 1.1	△ 0.5	-



### <経常収支比率の段階別団体数の状況>

区分	80.0%未満	80.0%以上 90.0%未満	90.0%以上 100.0%未満	100.0%以上	合計
平成27年度	8	26	7	0	41
平成26年度	4	26	10	1	41

### <実質公債費比率の段階別団体数の状況>

区分	10.0%未満	10.0%以上 18.0%未満	18.0%以上 25.0%未満	25.0%以上	合計
平成27年度	34	7	0	0	41
平成26年度	29	12	0	0	41

## 6 地方債現在高、債務負担行為及び積立金現在高

(1) 地方債現在高に債務負担行為額を加え、積立金残高を差し引いた額(実質債務)は、前年度比84億円増(+1.8%)の4,680億円となった。

(2) 積立金現在高は、前年度比159億円増(+9.3%)の1,857億円となった。

### <将来にわたる実質的な財政負担の状況>

(単位: 百万円、%)

区分	平成27年度末		平成26年度末		対前年度 増減額	増減率	
		標準財政規模 に対する割合		標準財政規模 に対する割合			
地方債現在高 A	586,937	175.9	576,118	177.4	10,819	1.9	
うち臨時財政対策債除き	370,303	110.9	368,398	113.5	1,905	0.5	
債務負担行為額 B (翌年度以降支出予定額)	66,821	20.0	53,399	16.4	13,422	25.1	
積立金現在高 C	185,742	55.7	169,867	52.3	15,875	9.3	
内訳	財政調整基金	79,749	23.9	73,664	22.7	6,085	8.3
	減債基金	21,902	6.6	20,668	6.4	1,234	6.0
	その他特定目的基金	84,091	25.2	75,535	23.3	8,556	11.3
A+B-C	468,016	140.2	459,650	141.6	8,366	1.8	

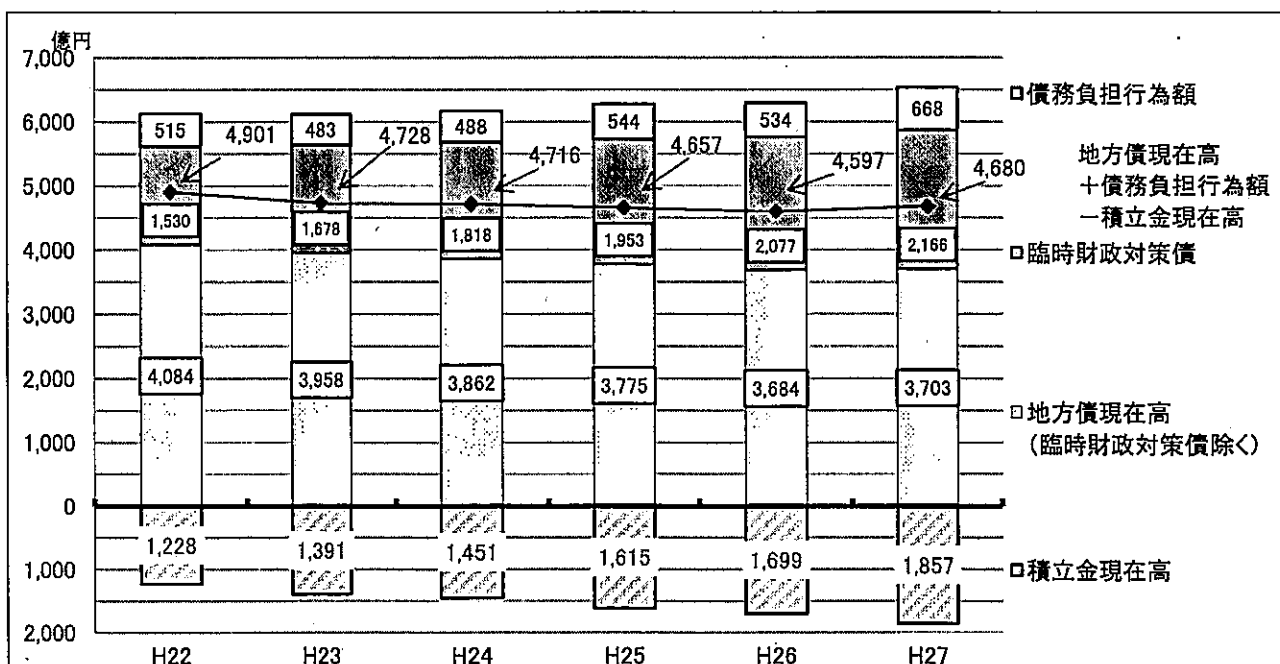
### <(参考)積立金の増減額>

(単位: 百万円)

区分	積立額	取崩額	積立金増減額	
積立金計	32,976	17,101	15,875	
内訳	財政調整基金	14,530	8,445	6,085
	減債基金	2,413	1,180	1,234
	その他特定目的基金	16,033	7,477	8,556

(注) 歳計剰余金処分による積立額及び調整額を含む。

### <地方債現在高、債務負担行為及び積立金現在高の推移>



# 平成27年度 市町村別決算収支の状況

(単位:百万円)

区分	歳入 A	歳出 B	形式収支 (A-B) C	翌年度 繰越財源 D	実質収支 D	単年度収 支 E	積立金 F	繰上償 還 G	積立金 取崩額 H	実質単年度 収支 (E+F+G-H)
1 那覇市	146,098	141,412	4,686	1,848	2,838	46	1,408	23	0	1,477
2 宜野湾市	38,557	37,698	859	204	655	6	335	0	0	341
3 石垣市	27,042	26,208	835	254	580	151	307	19	0	477
4 浦添市	47,935	46,578	1,357	339	1,018	265	375	0	200	440
5 名護市	43,558	41,525	2,033	1,165	869	△ 366	793	0	1,174	△ 748
6 糸満市	24,541	23,790	751	167	584	290	0	0	0	290
7 沖縄市	65,661	62,084	3,577	1,652	1,925	326	910	0	907	330
8 豊見城市	25,759	25,123	635	413	222	△ 226	3	0	0	△ 222
9 うるま市	59,527	56,681	2,846	301	2,545	671	482	593	0	1,746
10 宮古島市	41,698	40,280	1,418	140	1,279	△ 155	721	0	5	561
11 南城市	23,087	21,848	1,239	112	1,127	90	1,302	59	1,077	374
12 国頭村	6,699	6,334	365	53	312	△ 12	0	393	0	380
13 大宜味村	5,569	5,153	416	18	397	259	69	0	63	265
14 東 村	3,087	2,859	228	20	208	75	150	0	0	225
15 今帰仁村	6,196	5,907	290	19	271	15	214	0	99	131
16 本部町	7,558	7,108	450	24	425	80	268	0	0	347
17 恩納村	8,850	8,522	328	32	296	20	217	0	147	90
18 宜野座村	7,324	7,157	168	47	121	4	365	0	259	109
19 金武町	11,283	10,646	637	345	292	144	2	0	195	△ 49
20 伊江村	8,294	8,025	268	16	253	105	21	0	167	△ 41
21 読谷村	15,625	14,992	633	227	406	△ 1	552	123	446	228
22 嘉手納町	9,283	9,113	170	14	156	△ 13	90	3	0	80
23 北谷町	15,345	14,598	746	325	421	63	151	0	0	214
24 北中城村	8,114	7,637	477	232	245	130	57	0	36	151
25 中城村	8,845	8,632	212	45	167	81	215	0	132	164
26 西原町	14,069	13,583	486	128	358	△ 12	589	0	683	△ 106
27 与那原町	7,497	7,227	270	47	223	△ 146	10	0	0	△ 136
28 南風原町	17,070	15,723	1,347	66	1,281	211	1,064	3	1,307	△ 29
29 渡嘉敷村	1,896	1,821	75	19	55	20	17	0	0	37
30 座間味村	2,386	2,186	200	63	137	82	76	0	52	106
31 粟国村	3,154	2,915	239	8	231	117	195	0	268	44
32 渡名喜村	1,269	1,217	52	11	41	29	0	0	0	29
33 南大東村	4,176	4,105	71	12	58	△ 115	624	0	0	509
34 北大東村	2,955	2,859	96	22	74	27	171	0	180	18
35 伊平屋村	3,211	3,062	149	12	137	27	55	0	60	22
36 伊是名村	4,872	4,600	272	10	262	97	475	0	139	433
37 久米島町	8,895	8,563	332	30	302	130	89	0	0	218
38 八重瀬町	14,194	13,611	582	71	511	62	462	23	462	85
39 多良間村	3,688	3,407	281	63	217	△ 14	437	0	184	239
40 竹富町	6,133	5,668	465	55	410	98	191	75	0	365
41 与那国町	5,525	5,190	335	131	204	△ 58	350	0	200	92
都市計	543,462	523,228	20,235	6,594	13,641	1,097	6,635	694	3,363	5,065
町村計	223,063	212,425	10,639	2,167	8,471	1,507	7,178	620	5,082	4,223
市町村計	766,526	735,652	30,873	8,761	22,112	2,604	13,813	1,314	8,445	9,287

# 平成27年度 市町村別財政指標等

(単位:百万円、%)

区分	標準財政規模	基準財政需要額	基準財政収入額	財政力指数	実質収支比率	経常収支比率			
						人件費	扶助費	公債費	
1 那覇市	65,911	49,263	38,180	0.75	4.3	88.0	22.3	19.7	16.4
2 宜野湾市	17,854	13,940	9,041	0.64	3.7	87.4	21.4	19.1	13.1
3 石垣市	13,282	11,251	4,655	0.39	4.4	84.3	28.2	12.2	15.5
4 浦添市	21,645	16,466	12,237	0.73	4.7	87.0	22.7	17.3	14.8
5 名護市	15,546	13,057	5,817	0.42	5.6	91.2	24.0	15.2	11.7
6 糸満市	12,122	10,090	4,712	0.45	4.8	90.0	22.6	18.2	17.5
7 沖繩市	27,904	22,510	12,449	0.54	6.9	83.5	20.3	20.4	10.3
8 豊見城市	10,861	8,695	5,149	0.58	2.0	88.9	23.1	16.0	13.3
9 うるま市	26,834	20,961	9,627	0.45	9.5	84.2	20.2	16.4	15.4
10 宮古島市	19,479	14,559	4,669	0.32	6.6	81.9	28.0	9.2	16.9
11 南城市	11,034	8,425	2,988	0.35	10.2	83.8	19.6	11.2	18.9
12 国頭村	3,061	2,751	565	0.20	10.2	78.1	24.9	2.6	19.6
13 大宜味村	1,876	1,621	594	0.36	21.2	86.9	31.6	3.5	11.1
14 東 村	1,584	1,428	220	0.15	13.1	83.6	26.4	3.6	13.9
15 今帰仁村	3,092	2,785	616	0.21	8.8	72.4	24.6	3.2	14.5
16 本部町	3,902	3,422	1,052	0.28	10.9	84.7	19.4	8.9	14.3
17 恩納村	3,172	2,579	1,312	0.49	9.3	82.0	26.0	6.3	9.6
18 宜野座村	2,095	1,829	556	0.31	5.8	79.5	29.1	5.7	9.5
19 金武町	3,545	3,070	1,027	0.32	8.2	83.2	25.6	5.6	8.1
20 伊江村	2,409	2,201	370	0.17	10.5	75.4	31.6	3.0	14.3
21 読谷村	7,219	5,826	3,293	0.55	5.6	81.2	23.7	8.3	7.3
22 嘉手納町	4,162	3,312	1,912	0.57	3.7	71.4	23.8	4.6	6.0
23 北谷町	6,871	5,229	3,918	0.73	6.1	80.1	24.2	8.0	8.5
24 北中城村	3,829	3,124	1,567	0.50	6.4	79.9	21.3	7.3	8.4
25 中城村	3,978	3,267	1,738	0.51	4.2	83.3	19.6	6.1	13.6
26 西原町	6,457	5,100	3,230	0.62	5.5	87.3	22.8	10.6	15.0
27 与那原町	3,713	3,119	1,407	0.44	6.0	89.7	22.9	10.7	13.0
28 南風原町	6,744	5,365	3,316	0.60	19.0	89.0	20.3	13.0	16.7
29 渡嘉敷村	723	675	63	0.09	7.7	87.0	42.6	1.5	16.2
30 座間味村	806	750	77	0.10	16.9	95.4	32.8	1.7	19.2
31 粟国村	678	632	61	0.10	34.1	95.3	38.1	1.8	15.3
32 渡名喜村	451	424	27	0.06	9.2	98.5	42.5	1.8	17.6
33 南大東村	1,297	1,193	153	0.13	4.5	67.3	22.0	1.4	20.1
34 北大東村	768	703	99	0.14	9.6	96.2	30.2	0.9	27.8
35 伊平屋村	1,147	1,080	97	0.09	11.9	90.5	39.2	2.4	18.5
36 伊是名村	1,214	1,128	124	0.11	21.6	87.7	41.3	2.9	16.6
37 久米島町	4,121	3,474	669	0.19	7.3	84.6	36.0	3.5	21.5
38 八重瀬町	6,571	5,304	2,095	0.39	7.8	86.2	22.0	11.9	20.3
39 多良間村	1,204	1,123	122	0.11	18.1	85.6	32.4	1.3	20.9
40 竹富町	3,137	2,863	452	0.15	13.1	78.0	27.9	2.0	15.4
41 与那国町	1,471	1,356	178	0.13	13.9	81.7	32.1	2.1	14.7
都市計	242,473	189,216	109,523	0.51	5.6	86.4	22.6	17.1	14.9
町村計	91,294	76,731	30,910	0.29	9.3	82.6	25.4	6.8	13.3
市町村計	333,767	265,947	140,433	0.35	6.6	85.3	23.4	14.2	14.4

(注)実質収支比率、経常収支比率の都市計、町村計、市町村計の値は加重平均であり、財政力指数については単純平均である。

平成27年度 市町村別地方債現在高、債務負担行為及び積立金現在高

(単位:百万円%)

区分	地方債 現在高A	債務負担行為 翌年度以降B	積立金現在高				A+B-C	標準財政 規模D
			C	財調基金	減債基金	その他特目		
1 那 覇 市	138,962	18,692	20,493	7,315	3,641	9,536	137,161	65,911
2 宜 野 湾 市	30,369	6,702	7,370	2,676	168	4,526	29,701	17,854
3 石 垣 市	21,459	175	4,834	2,734	262	1,838	16,800	13,282
4 浦 添 市	36,460	4,208	11,432	3,792	326	7,314	29,236	21,645
5 名 護 市	26,420	2,607	6,793	3,475	536	2,782	22,234	15,546
6 糸 満 市	19,699	536	2,838	817	307	1,714	17,397	12,122
7 沖 縄 市	36,773	6,083	12,648	4,959	180	7,508	30,208	27,904
8 豊 見 城 市	23,225	3,507	4,415	2,163	518	1,734	22,317	10,861
9 う る ま 市	51,379	4,162	14,493	5,558	5,135	3,800	41,048	26,834
10 宮 古 島 市	36,205	4,124	12,638	7,205	927	4,507	27,691	19,479
11 南 城 市	19,221	476	11,506	3,031	3,192	5,284	8,191	11,034
12 国 頭 村	5,587	0	2,083	273	254	1,556	3,504	3,061
13 大 宜 味 村	4,335	1	2,428	241	5	2,183	1,908	1,876
14 東 村	2,836	0	2,601	1,320	410	871	235	1,584
15 今 帰 仁 村	3,154	106	1,134	501	38	594	2,126	3,092
16 本 部 町	6,815	338	1,351	1,125	1	225	5,802	3,902
17 恩 納 村	4,016	1,806	4,804	1,945	480	2,378	1,018	3,172
18 宜 野 座 村	3,336	1	3,255	587	211	2,457	82	2,095
19 金 武 町	4,443	417	2,236	492	551	1,193	2,624	3,545
20 伊 江 村	4,318	0	3,787	1,627	706	1,455	531	2,409
21 読 谷 村	8,121	649	5,497	2,607	869	2,021	3,273	7,219
22 嘉 手 納 町	2,812	0	9,806	6,044	764	2,998	△ 6,994	4,162
23 北 谷 町	6,619	4,073	7,110	2,564	183	4,363	3,582	6,871
24 北 中 城 村	4,594	2,176	1,389	637	13	739	5,381	3,829
25 中 城 村	5,723	91	1,913	652	182	1,079	3,901	3,978
26 西 原 町	11,407	1,087	1,940	1,017	501	422	10,554	6,457
27 与 那 原 町	6,315	384	1,771	1,370	107	294	4,928	3,713
28 南 風 原 町	14,647	13	1,017	630	71	316	13,643	6,744
29 渡 嘉 敷 村	1,345	0	849	510	149	190	496	723
30 座 間 味 村	1,226	66	300	201	17	82	992	806
31 粟 国 村	1,543	0	565	234	14	317	978	678
32 渡 名 喜 村	675	0	361	343	2	16	314	451
33 南 大 東 村	2,931	0	4,211	3,602	146	464	△ 1,280	1,297
34 北 大 東 村	2,255	0	1,007	660	3	344	1,248	768
35 伊 平 屋 村	2,019	0	393	358	0	34	1,626	1,147
36 伊 是 名 村	2,586	0	782	537	96	148	1,804	1,214
37 久 米 島 町	6,886	248	3,774	1,488	59	2,227	3,360	4,121
38 八 重 瀬 町	15,917	24	1,604	480	149	975	14,337	6,571
39 多 良 間 村	1,714	4,069	2,474	1,577	105	791	3,309	1,204
40 竹 富 町	6,103	0	4,253	1,399	608	2,246	1,850	3,137
41 与 那 国 町	2,490	0	1,588	999	17	571	902	1,471
都市計	440,172	51,273	109,460	43,726	15,192	50,543	381,985	242,473
町村計	146,765	15,549	76,282	36,024	6,710	33,548	86,032	91,294
市町村計	586,937	66,821	185,742	79,749	21,902	84,091	468,016	333,767

## 主な財政用語の説明

用語	解説	算式
形式収支	歳入決算総額から歳出決算総額を単純に差し引いた額。	歳入決算額－歳出決算額
実質収支	形式収支から、翌年度への繰越し財源を差し引いた額。累年による黒字、赤字の額を示す。	(歳入－歳出)－翌年度へ繰越すべき財源
単年度収支	実質収支は前年度以前からの収支の累積であるので、その影響を控除した単年度の収支のこと。具体的には、当該年度における実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額。	当該年度の実質収支－前年度の実質収支
実質単年度収支	単年度収支のなかには実質的な黒字要素や赤字要素が含まれている。これらを控除した単年度収支を実質単年度収支という。当該年度だけの実質的な収支を把握するための指標。	当該年度実質収支－前年度実質収支＋財政調整基金積立額＋地方債繰上償還額－財政調整基金取崩額
標準財政規模	当該団体の一般財源の標準規模を示した額。	標準税収入額等＋普通交付税＋臨時財政対策債発行可能額
実質収支比率	標準財政規模に対する実質収支額の割合。実質収支額が黒字の場合は正数、赤字の場合は負数で表示される。	$\frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100 (\%)$ <small>(H19より臨時財政対策債発行可能額含む)</small>
財政力指数	当該団体の財政力を表す指標。 標準財政収入額を標準財政需要額で除して得た数値の過去3ヶ年の平均値を言う。「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕があるものとされ、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となる。	$\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$ の3ヶ年平均
実質公債費比率	地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額（普通交付税が措置されるものを除く）に充当されたものの占める割合の過去3ヶ年の平均値。 地方債協議制度の下で、18%以上の団体は、地方債の発行に際し許可が必要となる。さらに、25%以上の団体は財政健全化計画の策定を前提として、地方債の発行に際し許可が必要となり、35%以上の団体は、財政再生計画の同意がなければ災害復旧事業債等を除いて起債が制限されることとなる。	$\frac{(A+B) - (C+D)}{E-D} \times 100 (\%)$ <small>当該年度前3年度の平均値</small> A：地方債の元利償還金（公営企業分及び繰上償還等を除く） B：地方債の元利償還金に準ずるもの（「準元利償還金」） C：元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源 D：地方債に係る元利償還に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額（「算入公債費の額」）及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算定された額（「算入準公債費の額」） E：標準財政規模（「標準的な規模の収入の額」）
経常収支比率	財政構造の弾力性を測定する比率 人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税を中心とした経常一般財源がどの程度充当されたかをみる指標で、この比率が低いほど普通建設事業費等の臨時的経費に充当できる一般財源に余裕があり、財政構造が弾力性に富んでいることを示す。	$\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源総額} + \text{臨時財政対策債等}} \times 100 (\%)$
一般財源	用途が特定されず、どのような経費にも使用することができる収入を一般財源という。	一般には、地方税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、軽油引取税交付金など。
義務的経費	地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務づけられ任意に節減できない経費であり、極めて硬直性の強い経費。	人件費、扶助費、公債費の3つの費目が義務的経費とされている。
投資的経費	その支出の効果が資本形式に向けられ、施設等がストックとして将来に残る物に支出される経費をいう。	生産的経費ともいわれ、これに分類できる性質別経費としては、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費があげられる。